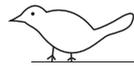


社会福祉法人そよかぜの機関紙

第114号

発行2013.7.21

年4回発行



社会福祉法人そよかぜ
羽村市栄町3-3-1
☎042-578-0855
fax.042-578-0466

そよかぜだより

[特集]

福祉作業所ひばり園

就労継続支援B型事業

今回のそよかぜだよりは、福祉作業所ひばり園の就労継続支援B型事業にスポットを当てました。ひばり園は、前身の“まいまい共同作業所”から数えて約30年の歴史があります。今のひばり園は、羽村市栄町三丁目、栄小学校の道・緑地公園を挟んで東隣にあり、現在、63名(定員70名)の利用者さんが日々作業に取り組んでいます。利用者の皆さんの年齢は、18歳から69歳まで幅広く、男女比は、6対4となっています。また、園の運営や利用者さんの活動支援を担当する職員は19名おり、男女比は2対8で女性の多い職場です。作業の内

容は、自動車部品(ベアリング)の組立、農業機械(草刈り機、チェーンソー等)部品の個装(袋、箱詰め)、羽村市指定ゴミ袋のパッケージ、リサイクルショップくれよんの経営、古紙回収など多岐にわたり、企業や行政当局、市民の皆様のあたたかいご支援をいただきながら一生懸命に取り組んでいます。

ご存知の方も多いと思いますが、今の日本では障害のある人が普通に就職することは容易でなく、ひばり園のような福祉サービスとしての就労の場(福祉的就労)を選択する 경우가少なくありません。また、障害の特性や程度に応じて適切な

支援が受けられる福祉的就労を積極的に求める人もあります。しかし、残念なことに福祉的就労の給料は、一般就労とは比べものにならないくらい低いのも現実です。障害があってもなくても普通に就労できる世の中が理想ですが、今のところそうではありません。でも、ひばり園の利用者さんは、ハンディキャップにもめげず、明るく元気に責任感をもって仕事に取り組んでいます。その姿を読者の皆様にも是非みていただきたいという強い思いからこの特集を組みました。



【特集】福祉作業所ひばり園

ひばり園の一日

長いようであっという間の、ひばり園での一日。作業だけではなく、当番や掃除など、みんなで協力して、ひばり園の一日はつづられています。利用者さんと職員はどう過ごしているのでしょうか。

【主な作業内容】

基本作業時間
9:00～16:00(5.5時間)

- ①ベアリング組立
- ②農業機械部品の個装
- ③羽村市指定ゴミ袋のパッケージ



一口メモ「就労支援って、どんなこと？ 就労継続支援B型って、なに？」

●就労移行支援では、企業などへの一般就労を希望し、その方の適性にあった職場への就労が見込まれる65歳未満の障害者等に対して、事業所内での作業訓練や、企業等での職場実習、就職後の職場定着支援などを行います。

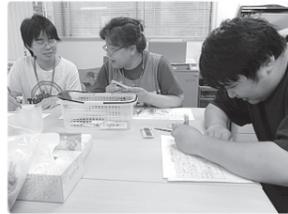
●就労継続支援A型では、企業などで就労することが困難な障害者等に、雇用契約に基づく就労の機会を提供する事業です。一般的な労働契約に基づくので、最低賃金や各種保険(労災、健康保険など)が適用されます。

●就労継続支援B型では、作業を通じて知識・能力の向上を図り、一般就労に向けた支援を行います。就労継続支援A型と大きく違うところは非雇用型であることです。「働く意欲を持って企業などで就労することが困難な障害者等」が働くための作業所です。自立した日常生活を営むことができるよう就労の機会を提供するとともに、生産活動、その他の活動機会の提供を通じ、知識及び能力の向上のための必要な支援もしています。

利用者さん



8:30～
請け出し
職員が運転する車で
近くの工場へ、今日
作業する材料を受け
取りに行きます。



9:15～
お弁当集計
お弁当業者に仕出し弁当を注文
します。



11:45～
お弁当確認
届いたお弁当を確認して、注文表を
見ながら、注文した人の名札をお弁
当箱の上に置きます。



12:00～13:00
昼休み
朝に注文したお弁当や、自分で持っ
てきたお弁当を食べます。食後はお
茶を飲みながらおしゃべりしたり、テ
レビを見たり、くつろいでいます。



14:15～
お茶当番
午前、お昼、午後の休憩前
には、みんなが飲むお茶を、お茶
当番の人が用意します。



16:00～
片付け～掃除
一日の作業終了。材料や道具を
片付けたら、園内の掃除をします。



16:15～17:00
夕納品
当番の人は残って、今日一日に作
業した分を工場へ納品に行きます。
終わったら、タイムカードをおして帰
ります。おつかれさまでした!



9:00～
出勤
ラジオ体操
作業開始
一日の始まりは、ラジオ
体操で体を動かしてから!



10:30～10:45
休憩
ちょっと一息ついて、お
昼ご飯まであと少し。職
員も利用者さんといっし
よに休憩します。



8:30

職員



10:30



12:00



13:00



14:30



16:00



17:30



8:30～
出勤
朝ミーティング
各フロア、各部署の職員が
事務室に集まり、一日の予
定などを共有します。



9:30～
フロアミーティング
朝ミーティングでの内容を各フロア
に持ち帰り、一日の予定、作業内
容などを確認、共有します。



11:00～
夕納品分チェック
午前中に利用者さんたちが作業し
たものにミスがないかなを確認
し、箱詰めして納品の準備をします。



12:00～13:00
昼休み
とつともにごやかな食堂で、利用
者さんたちと一緒に昼ご飯をい
ただきます。金曜日だけ、クラシッ
クやヒットソングと、いろいろな音
楽を流します。



13:00～
事務仕事
一日のうち、事務仕事にあてら
れる時間はごくわずかです。利
用者さんの様子を見ながら、集
中して行います。



13:30～(随時)
面談
必要なタイミングで利用者さんと
面談をします。利用者さんの声
を聞く、とても大切な支援です。



15:00～
夕納品チェック
今日一日作業した分をチェック
し、納品する準備をします。納品
書を書き、車に積み込みます。



16:30～
夕ミーティング
今日一日を振り返ります。支援
方法や作業内容、改善点など
など、話しは尽きません。



17:15～
退社
園内の戸締まりを確認して帰
ります。おつかれさまでした!

ひばり園の外でも、様々な作業に取り組んでいます!

リサイクルショップくれよん

「障害のある人もない人も安心して働けるお店」、「障害のある人が、くれよんを通してはたらく喜びを感じ、地域で生きていく力をつけること」をめざして営業しています。売上は経費を除いて利用者さんのお給料(工賃)になっています。お値引きなどをご容赦頂いているのは、そのような特徴もあってのことです。

株式会社やまびこ企業内作業

利用者さんと職員がチームを組み、やまびこ様の青梅物流センター内一角をお借りして社員の皆さんと一緒に作業をする取り組みです。生産性の向上が図れるとともに、一般企業内で働くことで、利用者さん、職員ともに一般就労に必要なことを、実践を通して学べる貴重な場となっています。

資源回収

利用者さんと職員が作業活動の一部として、羽村市近隣の小売業、製造業などのさまざまな一般企業、医療機関や保育園・幼稚園、市内の小中学校、給食センターなどの公的機関や市民のお宅などへ回収にまわっています。回収作業から得た収入の一部は工賃にもなっています。

【年間行事予定】

ひばり園では、日頃の作業の疲れを癒やすリフレッシュとコミュニケーションの練習も兼ね、年に数回行事を企画しています。行事には全員で参加する行事と希望参加制の行事があります。希望参加制行事は今年度からの取り組みです。みなさん毎年、楽しみと不安が入り混じった気持ちで当日を迎えますが、普段なかなか見られないようなステキな表情が印象的です。

4月 入所式
お花見

5月 グラウンドゴルフ大会
7月 ブラジル料理会
8月 健康診断

9月 ソフトボール大会
10月 日帰り旅行
11月 事業所交流会
12月 クリスマス会
1月 鏡開き
成人の祝い
書き初め
新年会

毎年恒例の新年会ではボウリング大会と食事会を開催しています。
2月 豆まき 歯科検診
3月 年度納め会
年度末茶話会

[平成24年度 事業報告]

めまぐるしさと、安定と

堀内政樹 社会福祉法人そよかぜ施設長

本年度は、障害者自立支援法に代わる法律「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)」が成立し、平成25年度から施行されることになりました。そよかぜに関わる場所では、障害者の範囲に難病が加わること、障害者サービスの支給決定に係る「障害程度区分」を「障害支援区分」に変更(平成26年度から施行)することによる支給判定の改善、現在、障害程度区分によりケアホーム(共同生活介護：重度)、グループホーム(共同生活援助：軽度)の2種類に分かれているものを共同生活援助に一元化(平成26年度から施行)するなどの変更があげられます。この他、国等による障害者施設等からの物品・役務等の優先的な調達を推進する法律が成立するなど、障害者福祉法制度の動きがめまぐるしい年度でした。こうした中にも、そよかぜの各事業は、それぞれ課題はあるものの、全体としては概ね順調に推移することができました。また、福祉

作業所ひばり園では、そよかぜ事業所で初めての「東京都福祉サービス第三者評価」を受審し、事業の長所や短所など現状が明確になり、今後のひばり園の利用者支援及び運営管理に役立ててまいります。

各事業の実施状況

福祉作業所ひばり園就労移行支援事業は、4月より8名の利用登録があり、6月にはさらに1名が加わりました。施設内での軽作業や清掃訓練、企業実習や面接会などへの積極的参加など、企業就職に向けた取り組みを行いました。この結果、本年度は5名の就職が決まり、それぞれ安定した勤務を継続しています。

福祉作業所ひばり園の就労継続支援B型事業は、前年度、震災の影響で不安定になった授産活動も、本園、出張所(リサイクルショップくれよん)、企業内作業など、順調に推移しました。特に企業様からの作業受注量は堅調で、近隣の同業者(福祉作業所

等)に応援をお願いする状況が続きました。くれよんのリサイクル品販売も年度を通して好調でした。

福祉作業所スマイル工房は、昨年に引き続き年度を通して定員オーバーの状態が続いていますが、利用者支援、授産活動(パン・クッキー、室内軽作業等)ともに、安定した事業所運営ができました。

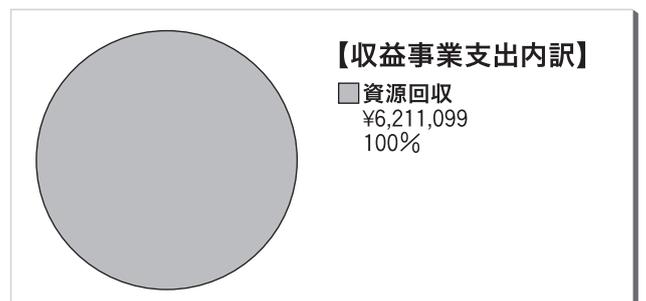
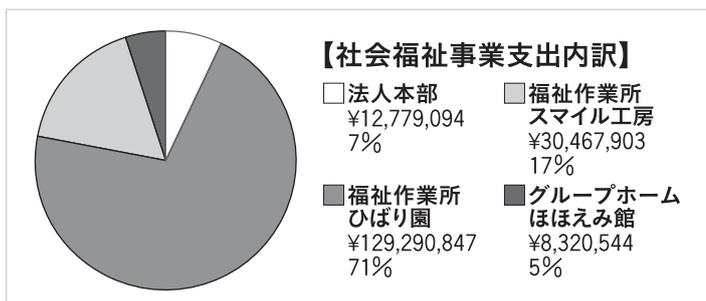
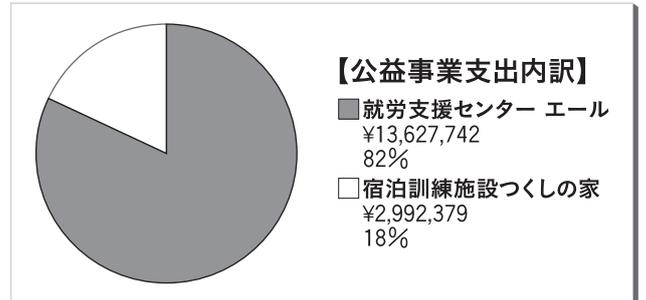
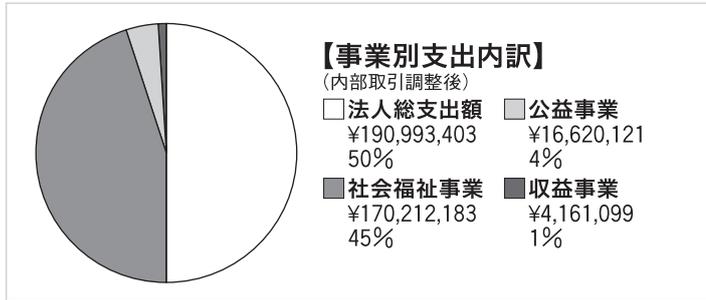
グループホームほほえみ館は、利用者4名の満定員でほぼ順調に推移しました。年度初めから一般就労した利用者に対して、就労支援センター エールや出身校の進路担当教員とも連携した支援を行いました。

宿泊訓練施設つくしの家は、ひばり園利用者など、新規サービス利用者が増えました。

就労支援センター エールは、近年のサービス利用ニーズの増加から、慢性的な人手不足に悩んでいましたが、「羽村市版事業仕分け」による支持や羽村市行政当局のご理解により人員増のための予算措置が決定しました。就労支援業務は、概ね順調に推移しました。

資源回収事業は特に大きな問題もなく順調に推移することができました。

上記の各事業を実施するために支出された事業費につきまして、平成24年度決算(資金収支)結果を、下記グラフにてご報告いたします。



「そよかぜコラム」
昔の唱歌と農村風景が消えていきます

そして忘れる

先人の長い辛苦の歴史も

一ヶ月ほど前の新聞に次のようなコラム記事がありました。

「今は山中 今は浜」。3月の家族向けコンサートで、作曲家の宮川彬良さんが唱歌「汽車」を観客と一緒に歌った。しかし、子どもたちの多くが戸惑い顔。愕然とした。この曲を知らないなんて。

宮川氏からこの話を聞いた女性記者は、さっそく大手出版社の小学校の音楽教科書を捲ってみると「汽車」だけでなく、多くの歌がここ20年ほどの間に消えていた。「かごめかごめ」「むすんでひらいて」「アマリス」「くつがなる」「あめふり」「どんぐりころころ」……。記者は最後に「戦中戦後の人々が思いを託してきた歌も、そろそろ意識的に守り伝えてゆかなければならない時期にきているのではないだろうか」と結んでいます。

私も聞かされた歌があります。一、「卯の花のおう垣根に、ほととぎす早も来鳴きて、忍音漏らす夏は来ぬ」
二、「五月雨のそそぐ山田に、早乙女が裳裾濡らして、玉苗植うる夏は来ぬ」
年輩の方なら誰でも知っている文部省唱歌の「夏は来(き)ぬ」です。私たちは知っているのが当たりまえと思つて口ずさんでいますが、この歌をいまの子どもに聞かせたら、先の「汽車」以上に戸惑うことでしょう。「そんなわけの分からないものより、AKBでもやってよ」ということでしよう。

テイーなしでしたから、早乙女(さおとめ)若(若い)娘)は着物の裾を高く上げることができません。裳裾(もすそ)が濡れるのは仕方がないことでした。
昔の経済はお米で動いていました。武士の給料は禄高で何石といました。お米を作る農作業の中で田植えは最も大切な仕事です。家中総出で女も子供も手伝いました。私が子どもの頃、田植えの時期は学校が休みになりました。歴史学者の網野義彦(2004年没)の説によると、過去の日本で農村風景が大きく変わったのは十四世紀南北朝の頃、集落のあり方が変わつて今のような村ができ、農作業を共同でするようになってがらりと変わりました。その後現代まで政治の変遷はあつても農村風景は変わりませんでした。あの大変革の明治維新でさえ、江戸と明治の間は何の変化もなかったそうです。そういえば私も牛に引かせて田をつくつたり、大きな下肥の桶を天秤棒で担いであぜ道をゆく農夫の姿をありありと覚えています。おそらくそれは大昔から変わらぬ風景であつたはずで、それらはすべて現代になつて消え去りました。

科学技術の進歩のおかげで社会が変わるのは当然のことですが、お米作りは昔よりわが国の政治と経済の基盤でしたからいわば日本文化そのものです。古典の文芸も絵画もその上に育ちました。日本人の伝統的な美意識を培ってきたものがいま消えていきます。
先の女性記者が、高校音楽教科書の検定結果を調べるとEX ILEとか木村カエラら、その時々々の旬のアーティストの曲が増えていているといいます。私も2社の教科書を覗いてみて、知っているところでは、桑田佳祐、谷村新司、さだまさし、中島みゆきなどあります。もちろんこれらは後世に残るすばらしい曲を作つた人たちですが、要するに人氣歌手のヒット曲です。いまの若者ならわざわざ学校で教えるまでもなく、放つておいても全部覚えてくれるでしょう。それに比べて「夏は来ぬ」は教えなくてはけつて覚えてくれません。したがつて学校で教えなくなつた時点で消えていく運命です。

さは日本の財産です。「耐えることなしでは教育は成り立たない」といつたのは「エミール」を著したルソーです。生徒のご機嫌とりが教育ではないはずで、ひばり園の利用者に三十歳台の女性で、ひな祭りの歌が好きの人がいます。「あかりをつけましょぼんぼりに……」と一番から四番まで全部暗誦できます。例えば三番の「金の屏風にうつる灯を、かすかにゆする、春の風、すこし白酒召されたか……」と現代社会がなくなった雅と幽玄の世界を歌います。
ひばり園の中では障害が重いほうに属する彼女ですが、それでも、ぼんぼり、お内裏様、金の屏風、果ては御所車など大昔にはあつたもので、そんな物に囲まれて暮らしていた人が本當にいたこと、その末に今があることを理解できたのは歌なればこそです。毎年三月三日にキーボードでこの歌を弾いてみんなかから拍手をもらっています。そのときは実に晴れがましく得意そうです。彼女がこうなつたきっかけは、本人は気が進まなかつたピアノの練習を親にさせられたせいです。彼女も「耐える」ことから始めました。(西岡英一)

普及が期待される生活支援ロボット

わが国のロボット技術は世界のトップレベルにあり、工場の生産ラインや福島原発事故現場のような人が近づけない危険な場所で働く産業用ロボットの活躍はよく知られています。こうした産業用ロボットに限らず医療、介護、家事、安全などの分野で人の生活を支援する「生活支援ロボット」もその実用化が注

目されています。要介護高齢者や重度障害者など生活機能に低下や障害がある人々を支援するために、車いすロボット、歩行支援ロボット、上肢動作支援ロボットなど多様なニーズに合わせたロボットの研究開発が進められています。生活支援ロボットの活用にはメリットだけでなく「生活不活発病」や「生活機能低

コラム「福祉の時をつかむ」

下の悪循環」を起こす危険性などデメリットも指摘されており、効果の総合的な検討が求められています。とはいえ、生きにくさの解消・軽減に、また、介護現場などで働く人たちの業務の効率化や負担軽減など生活支援ロボットの本格的な実用化が大いに期待されています。

ホームページが新しくなりました！ <http://soyokaze-hamura.com>

各事業所からのお知らせ



福祉作業所ひばり園

去る5月20日にひばり園グラウンドゴルフ大会が行われました。この行事はひばり園初めての希望参加制行事で、全利用者さんの3/4である47名の方が参加されました。当日は爽やかながらも暑い日差しの照りつける中、思い通りのパットが決まらず奮闘したり、思わず入った一打に大喜びしたりと、大いに盛り上がりました。通常コースのほかにもホールインワンチャレンジコースもあり、一打一打に歓声が上がりました。

就労移行支援では、現在6名の利用者さんが企業への就職に向けて活動しています。中でも利用開始から2年目に入った方は、「就活セミナー」という外部

研修に参加しました。ビジネスマナー、履歴書の書き方、面接の受け方等を学び、益々就職への意識が高まりました。今年度から利用開始された方々は、「清掃技能検定」に挑戦しました。結果には一喜一憂ありますが、毎日の努力の積み重ねが自信につながってくれることと思います。

リサイクルショップくれよん

くれよんにもいよいよ夏到来です。利用者さんもお客さまに喜んでいただけるよう、暑い中仕事に励んでいます。布巾縫いや、ラベンダーポプリ作りも行っています。店内では、均一ワゴンセール実施中です。合わせて夏物も続々と店頭に出しています。あなたの夏をくれよんで彩りませんか？スタッフ一同心よりお待ちしております。

福祉作業所スマイル工房

スマイル工房のパンは、月4～6回程度で火・金曜日の午前中に焼きます。リサイクルショップくれよん、羽村市農産物直売所にて販売しています。6月より夏期限定の“カレーパン”“ピロシキ”の販売を始めました。天然酵母の風味を生かしたクッキー

も好評です。数には限りがございますので、売り切れの際はご容赦くださいませ。

障害者就労支援センター エール

「エール」は、羽村市より社会福祉法人そよかせに委託された障害者就労支援事業です。羽村市在住の障害のある方を対象に、就職を希望している方や働いている方などからの相談を受け、支援を行っています。

利用時間：月曜日～金曜日、午前9時～午後5時。今年度の第一土曜開所日は、8/3、9/7、10/5、11/2、12/7、2/1、3/1です。夏季休業：8月14日(水)～16日(金) ※ご相談には予約をお願いします。

宿泊訓練施設つくしの家

将来の施設入所やグループホーム入居、地域での自立生活などへの移行を円滑に行うことを目的としています。

グループホームほほえみ館

4名の利用者さん、全員元気です！「体調よしっ！」で過ごしてもらえるのが、いちばんうれしいことです。

資源回収のお問合せは「ひばり園」へ。

編集後記

今年は早々と梅雨が明けました。そんな梅雨が明けるころ、日本が誇る美しい山体の富士山が世界遺産に登録されました。今年も登山者が増えることと思いますが、ゴミと事故が増えないことを望みます。写真は三ツ峠山山頂より。



各事業所の連絡先

福祉作業所ひばり園 ☎042-578-0855

福祉作業所スマイル工房 ☎042-578-2723

リサイクルショップくれよん ☎042-578-2575

羽村市障害者就労支援センター エール ☎042-570-1233

羽村市心身障害者宿泊訓練施設つくしの家 ☎042-579-6849

グループホームほほえみ館 ☎042-578-2875